

仙崎港

の地域的参考情報

1 仙崎港の気象・海象の特性

- ・冬季には日本海を吹き抜ける北西の季節風により風が強く、急に吹き出して長時間続くことが多くあり注意が必要。

2 台風等に関する勧告基準

区分	基準	実施事項
注意喚起	下関地方気象台が「異常な気象・海象に関する気象情報」等を発表した場合	今後の気象情報に留意し、必要に応じて係留強化等の荒天準備を行う。
第一態勢	長門市が台風の強風域に入る約3時間前 ----- 発達した低気圧により長門市に暴風警報が発表された場合	<ol style="list-style-type: none"> 1 一般船舶は、係留索の補強、又は必要に応じ、安全な海域に避難する。 2 着岸中の総トン数500トン以上の船舶は、必要に応じて直ちに運航できるよう準備する。 3 小型船舶等(漁船、プレジャーボート、観光船等)は、係留索の補強、陸揚げ固縛、又は必要に応じ、安全な海域に避難する。 4 工事作業現場等においては、速やかに中止できる態勢とし、風浪により流出の恐れがある物件の固縛、陸揚げ、移動その他荒天準備をし、工事作業船は必要に応じ、安全な海域へ避難する。 5 荷役作業は、速やかに中止できる態勢とし、一般船舶のとるべき措置を行う。
第二態勢	長門市が台風の暴風域に入る約6時間前 ----- 発達した低気圧により長門市に暴風警報が発表され、陸上での風速が25m/s以上に達することが予想される場合。	<ol style="list-style-type: none"> 1 船舶は、荒天準備を完了させ厳重な警戒態勢をとること。 2 原則として、着岸中の総トン数500トン以上の船舶は、直ちに安全な場所に避難する。 3 避難船舶については、錨泊後次の措置をとること。 ・国際VHF(ch16)を常時聴取する等海上保安庁との連絡手段を確保する。 ・当直員(船橋当直、無線当直等)を配置する。 ・AIS搭載船舶はAISの常時作動を確認する。
解除	台風等の影響圏外となり、船舶及び船舶交通への影響がなくなったと仙崎海上保安部長が判断した場合	引き続き気象状況に留意しつつ態勢を解除する。

3 付近海域の特徴

- ・青海島の南側にある東方に開いた仙崎湾の湾奥に仙崎港が位置する。
- ・仙崎湾内の水深は20～35m、底質は泥又は泥砂で、風向により湾内の南北両側が良好な錨地となり得る。
- ・青海島と大島間の帆止ノ瀬戸には定置網が存在するため通航を避けることが望ましい。

緊急連絡先 仙崎海上保安部 TEL：0837-26-3168

各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。